

藤井寺市 GIGAスクール構想推進プラン

～Society 5.0時代を生きる子どもたちのために～



GIGAスクール構想とは (Global and Innovation Gateway for All)

- 1人1台端末と、高速大容量の通信ネットワークを一体的に整備することで、特別な支援を必要とする子どもを含め、多様な子どもたちを誰一人取り残すことなく、公正に個別最適化され、資質・能力が一層確実に育成できる教育ICT環境を実現する。
- これまでの教育実践と最先端のICTのベストミックスを図ることにより、教師・児童生徒の力を最大限に引き出す。



すべての子どもたちにグローバルで革新的な入口を

令和2年度の「学校づくりのための重点教育課題」の1つである、『多様な学びの提供、主体的な学びの醸成、協働する学びの構築できる学校』の実現をめざし、藤井寺市はGIGAスクール構想を推進します。

これまでの
教育実践の蓄積

×

ICT

=

学習活動の一層の充実
主体的・対話的で深い学びの視点からの
授業改善

ICTの活用により充実する学習の例

学習形態	「1人1台端末」の環境での事例
一斉学習	教材・画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用 (1人1台で子どもたち一人一人の反応を踏まえた、双方向型の一斉授業が可能)
個別学習	一人一人の習熟の程度に応じた個に応じた学習 インターネット等を用い、様々な情報を主体的に収集、整理、分析する調べ学習 シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習 推敲しながらの長文の作成やマルチメディアを用いた資料、作品の制作
協働学習	グループや学級全体での発表・話し合い 複数の意見・考えを議論して整理 グループでの分担、協働による作品の制作

実現に向けた市の取り組み

- 市では教員がパソコン、プロジェクター、大型テレビ、スクリーンを利用し、教材や画像の拡大提示等はこれまでの授業でも活用してきました。今後は1人1台ずつのタブレットが整備されることで、子どもたちの学びがさらに深化・転換します。
- 全校児童生徒への1人1台のタブレット端末配備にとまない、校内のインターネット回線についても、令和2年度中に整備が完了する予定です。また、教員が使いこなせるように研修を実施する予定です。

1人1台端末は令和の学びの「スタンダード」

ステップ1 “すぐにでも” “どの教科でも” “誰でも” 使えるICT

- 検索サイトを活用した調べ学習
- 一斉学習の場面での活用
- 文章作成ソフト、プレゼンソフトの利用
- 一人一人の学習状況に応じた個別学習



ステップ2 “1人1台”を活用して、教科の学びを深める。教科の学びの本質に迫る。

例えば・・・

- 国語：書く過程を記録し、よりよい文章作成に役立てる
- 社会：国内外のデータを加工して可視化したり、地図情報に統合したりして、深く分析する
- 算数・数学：関数や図形などの変化の様子を可視化して、繰り返し試行錯誤する
- 理科：観察、実験を行い、動画等を使ってより深く分析・考察する
- 外国語：海外とつながる「本物のコミュニケーション」により、発信力を高める



ステップ3 “1人1台”を活用して、教科の学びをつなぐ。社会問題の解決に生かす。

探求のプロセスにおける様々な場面において、
ICTを効果的に活用することができる

⇒ICTを含む様々なツールを駆使して、各教科等での学びをつなぎ
探求する教科横断的な教育

④まとめ・表現

②情報の収集

③整理・分析

①課題の設定

